No.213
令和７年７月20日

いたばし 区議会だより

第２回定例会

発 行　板橋区議会事務局
〒173-8501
東京都板橋区板橋2-66-1
☎ 3579-2704 FAX 3579-2780
https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kugikai/

成増阿波おどり大会

令和７年第２回定例会（６月５日～６月23日）

認可保育所などの保育料無償化や防犯機器などの購入補助事業のための補正予算を可決

主な掲載内容	面
議案・陳情の審議結果	2
常任委員会レポート	3
区議会の新構成	4～5
一般質問（要旨） 区政全般に対して行われた質問を紹介	6～8
議会トピックス	8

●定例会では、区政の各分野における課題について、14名の議員が一般質問を行い、区長などに報告や説明を求めました（要旨を**６～８面**に掲載）。
●当初予算編成後の情勢変化などに伴い、緊急性を要する経費に関する令和７年度一般会計補正予算（第１号）など区長提出議案26件を可決、１件を承認し、議員提出議案は１件を否決しました（詳細は**２面**に掲載）。
●陳情は３件を採択、６件を不採択とし、その他は継続審査としました（詳細は**２面**に掲載）。
●区長から提案された人権擁護委員候補者の推薦に適任との意見を付しました。

令和７年第１回臨時会（５月23日）

●指名推選により、議長・副議長を選出しました。また、常任委員会・議会運営委員会の委員を選任しました（**４～５面**に区議会の新構成を掲載）。
●４つの特別委員会の設置及び委員の選任を行いました。特別委員会では、それぞれの区政課題について調査・研究を進めていきます（**８面**に建議理由の要旨を掲載）。
●区長から提出された議会選出の監査委員の選任に同意しました。

○ホームページでは、本会議のインターネット生中継や録画配信がご覧いただけます。
○本会議や委員会の次第、配付資料はホームページに掲載しています。　板橋区議会　検索

R70 古紙パルプ配合率70％再生紙を使用

第２回定例会の審議結果

◆議案の内容や議員ごとの態度はホームページに掲載しています。
◆会議録は９月上旬にホームページや区議会事務局、図書館、区政資料室で閲覧できます。

【議員ごとの態度】
議案　請願・陳情

■議案・陳情に対する各会派の態度

○＝賛成、×＝反対、退＝退席

件名			会派名など（かっこ内は所属議員数。自民党は議長を除く数）								結果
			自民党	公明党	民主クラブ	共産党	日本維新の会	いたばし未来	参政党	無所属議員	
			(15)	(10)	(６)	(６)	(２)	(２)	(１)	(１)	
区長提出議案	予算	令和７年度一般会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	条例	水防及び災害応急措置の業務に従事した者の損害補償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
		特別区税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
		印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
		区立図書館設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
		保育所等の保育費用に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
		児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
		指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
		自転車等の駐車場の整備及び放置の防止に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
		職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
		職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
		幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	
		家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	
		特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	
	その他	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
		建物等の無償譲渡について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		倒木事故に係る損害賠償額の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	
		区道の一部廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	
		区立志村小学校・志村第四中学校小中一貫型学校改築工事請負契約	○	○	○5 退1	×	○	○1 ×1	○	○	
		区立赤塚小学校長寿命化改修工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	
		区立赤塚小学校長寿命化改修電気設備工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	
		区立赤塚小学校長寿命化改修給排水衛生ガス設備工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	
		区立加賀小学校外壁改修その他工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	
		区立中台小学校外壁改修その他工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	
		起震車の買入れについて	○	○	○	○	○	○	○	○	
		区立保育園寝具マット等の買入れについて	○	○	○	○	○	○	○	○	
		訴訟の提起（独立当事者参加の申出）について	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案	条例	区立学校学用品費無償化条例	×	×	×5 退1	○	○	○1 ×1	×	×	否決
陳情		排泄予測支援機器の日常生活用具認定に関する陳情	×	○	○	○	○	○	×	×	採択
		政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情	×11 ○4	○	○5 退1	×	○	○	○	○	
		板橋区立中学校において標準服の着用が義務ではないことの保護者等への周知徹底および標準服の無償化あるいは入学準備金で賄える金額に収めることを求める陳情　第１項　周知徹底の件	×	○	○	○	○	○	○	○	
		中小零細・個人事業主の支援のため原油価格・物価高騰対策の補助金制度の創設を求める陳情	×	×	×	○	×	×	×	×	不採択
		区立志村小学校・志村第四中学校小中一貫型学校改築工事の見直しを求める陳情	×	×	×5 退1	○	×	○1 ×1	×	×	
		板橋区立中学校において標準服の着用が義務ではないことの保護者等への周知徹底および標準服の無償化あるいは入学準備金で賄える金額に収めることを求める陳情　第２項　標準服無償化の件	×	×	×	○	○	○1 ×1	×	×	
		板橋区立中学校において標準服の着用が義務ではないことの保護者等への周知徹底および標準服の無償化あるいは入学準備金で賄える金額に収めることを求める陳情　第３項　金額見直しの件	×	×	×4 退2	○	×	○1 ×1	×	×	
		国に対し「消費税インボイス制度の廃止を求める意見書」提出を求める陳情	×	×	○	○	×	○	○	×	
		国に対し「消費税減税を求める意見書」提出を求める陳情	×	×	○	○	○	×	○	×	

可決した主な議案

一般会計補正予算（第１号）　補正額　７億6,900万円

福祉費

○認証保育所保育料等負担軽減経費ほか３事業　３億210万３千円
７年９月より、子育て世帯に対する経済的負担の軽減施策として、認可保育所などの０歳から２歳児の第１子保育料の無償化及び認証保育所などの０歳から５歳児の第１子利用料の助成事業を拡大するための経費

総務費

○防犯機器等購入緊急補助事業　２億530万４千円
区民の防犯対策の充実及び防犯意識の向上を図るため、住居への侵入盗被害防止に有用な防犯機器などを購入する世帯に費用の一部を補助するための経費

土木費

○路面下空洞調査及び補修工事　１億9,409万６千円
６～８年度で予定していた路面下空洞調査について、埼玉県八潮市の陥没事故を受け、７年度中に「調査の前倒し」及び「空洞箇所の早期補修対応」を実施するための経費

福祉費

○保育所等物価高騰対策支援事業　5,426万７千円
７年４～９月までの期間、保育所などの負担軽減対策として、私立認可保育所などを対象に、物価高騰対策支援金を支給するための経費

教育費

○私立幼稚園等利用世帯負担軽減事業　1,323万円
第２子以降を対象としていた幼稚園の預かり保育料などの負担軽減について、７年９月より補助対象を第１子に拡大するための経費

常任委員会レポート

◆区議会で取り扱う事項は件数が多く、内容も広い分野にわたるため、専門的・効率的に審査や調査を行うため、分野ごとに常任委員会を設けています。
◆第2回定例会で各委員会に付託された議案や陳情について、審査した内容などの一部を紹介します。

令和7年度一般会計補正予算（第1号）などを審査

企画総務委員会（6月10、12日）

今定例会では、議案14件と陳情3件を審査し、9件の報告を受け、それぞれの案件に対し各委員が質疑を行いました。主な審査内容は次のとおりです。

■議案審査

令和7年度一般会計補正予算（第1号）は、当初予算編成後の情勢変化などに伴い、緊急性を要する経費を計上するため、総額7億6千900万円を増額するものです。

〈主な質疑〉

問 防犯機器等購入緊急補助事業における補助額の上限を3万円に設定した理由は。

答 区民負担を減らすことに併せ、区民の防災対策を充実させるため、他区の事例などから都の2万円の補助に1万円を上乗せすることとした。

〈意見表明・表決〉

区民の安全や物価高騰対策、子育ての充実など、いずれも必要な事業であるため賛成。賛成だが物価高騰対策という点ではまだまだ不十分であるなどの意見がありました。

表決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

■報告事項

板橋区ブランド戦略の策定方針（案）については、板橋区シティプロモーション戦略の追録版である板橋ブランド戦略の戦略期間が7年度で満了するため、板橋区ブランド戦略を策定することについて、報告を受けるものです。

〈主な質疑〉

問 戦略を策定し、魅力を発信していくのであれば、民間の専門家の意見も聞くべき。

答 様々な分野に精通した専門家の意見を聞きながら進めていきたいと考えている。

印鑑条例の一部を改正する条例などを審査

区民環境委員会（6月10日）

今定例会では、議案1件と陳情1件を審査し、5件の報告を受け、それぞれの案件に対し各委員が質疑を行いました。主な審査内容は次のとおりです。

■議案審査

印鑑条例の一部を改正する条例は、国民健康保険の被保険者証の廃止に伴い、被保険者証に係る規定を削除するものです。

〈主な質疑〉

問 7年9月に有効期限を迎える国民健康保険被保険者証の利用人数について伺う。

答 被保険者証の利用人数は、被保険者数の約半数である5万人弱と推測される。

〈意見表明・表決〉

必要な改正であり、区民生活に不具合が発生するようなものではないため賛成。賛成だが健康保険証の新規発行を終了したことは問題であるなどの意見がありました。

表決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

■報告事項

（仮称）産業ミュージアムの整備については、整備の概要や今後策定する予定である産業ミュージアム基本構想・基本計画について、報告を受けるものです。

〈主な質疑〉

問 産業ミュージアム基本構想・基本計画検討会の委員の人数及び構成員について伺う。

答 委員の人数は6名であり、理化学研究所の研究員や日本光学会の理事など学識経験者で構成されている。

問 パブリックコメントは、いつ頃実施するのか伺う。

答 実施時期は、7年11月頃を予定している。

（仮称）産業ミュージアムを整備する予定の旧理化学研究所

（仮称）板橋区地域保健福祉計画2030の骨子についてなど質疑

健康福祉委員会（6月10日）

今定例会では、議案2件を審査し、5件の報告を受け、それぞれの案件に対し各委員が質疑を行いました。主な審査内容は次のとおりです。

■報告事項

（仮称）板橋区地域保健福祉計画2030の骨子については、「安心して住み慣れた地域で暮らせるまち」をめざし、地域福祉推進へ取組みを発展させる次期計画の骨子について、報告を受けるものです。

〈主な質疑〉

問 計画に包含される再犯防止推進計画について、地域住民の理解を得るため、どのような働きかけを行うのか。

答 効果的な広報について、他自治体の事例などを踏まえ、今後研究していく。

問 地域福祉コーディネーターについて、今後どのような方法で拡充していくのか。

答 モデル配置の結果を検証しながら、拡充の方法について検討していく。

■報告事項

板橋区ユニバーサルデザイン推進計画2035基本方針については、現行計画が7年度で期間満了を迎えることから、地域共生社会の実現をめざす次期計画の方針について、報告を受けるものです。

〈主な質疑〉

問 まずは区職員の意識向上が必要と考える。見解は。

答 引き続き、ユニバーサルデザインの周知・啓発の機会を設けていく。

問 ユニバーサルデザインの考え方について、わかりやすく伝わるような工夫をすることで、区民の認知・理解が広がると考える。見解は。

答 定義や表現、バリアフリーなどとの関係を計画に反映できるよう検討していく。

自転車等の駐車場の整備及び放置の防止に関する条例の一部を改正する条例などを審査

都市建設委員会（6月11、23日）

今定例会では、議案3件を審査し、10件の報告を受け、それぞれの案件に対し各委員が質疑を行いました。主な審査内容は次のとおりです。

■議案審査

自転車等の駐車場の整備及び放置の防止に関する条例の一部を改正する条例は、大山東町自転車駐車場と小茂根図書館前自転車駐車場を新設するものです。

〈主な質疑〉

問 大山東町自転車駐車場の利用形態は。

答 定期利用を想定している。

問 利用開始時期を伺う。

答 大山東町自転車駐車場は、7年10月1日の開設をめざしている。小茂根図書館前自転車駐車場は、敷地の整備が終わり次第、8年1月中旬の開設を予定している。

〈意見表明・表決〉

大山駅及び小竹向原駅周辺の駐輪状況の改善を目的としているため賛成。賛成だが今後も自転車駐車場を拡充すべきとの意見がありました。

表決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

■報告事項

板橋区無電柱化推進計画2035の策定については、より一層の都市防災機能の強化を図るため、無電柱化の推進をめざす次期計画の方針について、報告を受けるものです。

〈主な質疑〉

問 国道や都道だけでなく、幅員が狭い区道でも無電柱化を計画していくのか。

答 現行計画では、避難時に使用される道路など、一定の幅員がある道路を指定しており、今後も同様の考えである。

幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例などを審査

文教児童委員会（6月11、12、19日）

今定例会では、議案8件と陳情2件を審査し、16件の報告を受け、それぞれの案件に対し各委員が質疑を行いました。主な審査内容は次のとおりです。

■議案審査

幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例は、仕事と育児の両立支援制度の利用に関する幼稚園教育職員の意向確認などに係る規定を加えるほか、所要の規定を整備するものです。

〈主な質疑〉

問 部分休業の取得が同じ時間帯に集中し、人員不足になると考える。対応策は。

答 臨時的任用教員の採用と併せて、時差勤務の実施などを考えている。

〈意見表明・表決〉

育児期の柔軟な働き方を実現することは、優秀な人材確保にもつながるため賛成。賛成だが職員が制度を利用しやすい風土づくりに努めるべきなどの意見がありました。

表決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

■報告事項

補正予算概要については、幼稚園などにおける2歳児及び満3歳児の預かり保育に係る補助金の対象者を課税世帯の第2子以降から第1子に拡充するための経費などを計上した第1号補正予算の概要の報告を受けるものです。

〈主な質疑〉

問 幼稚園などにおける預かり保育料などの負担軽減が拡大されることで対象となる人数は。

答 2歳児は294人、満3歳児は1397人を見込んでいる。

議会の新しい構成を紹介します

議長　田中　しゅんすけ（自民党）

副議長　田中　いさお（公明党）

常任委員会

議会で取り扱う議案や請願・陳情を、専門的かつ効率的に調査・審査するため、分野ごとに５つの常任委員会を設けています。
各常任委員会では、付託された案件を審査し、審査結果について本会議に報告します。最終的な決定は本会議において行われます。

企画総務委員会

【主な審査内容】 政策の総合的な企画・調整・評価、財政、広聴・広報、ITの推進・情報処理、営繕、区議会・区の行政一般、職員の進退・身分、契約、区税、情報公開・個人情報保護、公文書などの収集・保存・公開、男女平等参画、財産、防災・危機管理、公有財産・物品の管理運営、選挙管理、監査事務、他の委員会に属さないこと

委員長　田中　やすのり（自民党）

副委員長　わたなべ　一美（公明党）

坂田　れい子（参政党）

一島　ひろし（自民党）

長瀬　達也（自民党）

寺田　ひろし（公明党）

岩永　きりん（民主クラブ）

荒川　なお（共産党）

佐々木　としたか（自民党）

健康福祉委員会

【主な審査内容】
高齢福祉、健康・保健衛生、保健所、介護保険、国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療制度、障がい者福祉、福祉事務所、その他の社会福祉

委員長　いしだ　圭一郎（公明党）

副委員長　小林　おとみ（共産党）

ひはら　みちこ（自民党）

しいな　ひろみ（無所属議員）

井上　温子（いたばし未来）

山田　たかゆき（自民党）

田中　しゅんすけ（自民党）

五十嵐　やす子（民主クラブ）

しば　佳代子（公明党）

文教児童委員会

【主な審査内容】
児童福祉、子ども家庭総合支援センター、学校教育、生涯学習、図書館運営

委員長　間中　りんぺい（自民党）

副委員長　いがらし　学（公明党）

近藤　タカヒロ（自民党）

大野　ゆか（いたばし未来）

内田　けんいちろう（自民党）

大森　大（日本維新の会）

石川　すみえ（共産党）

成島　ゆかり（公明党）

中妻　じょうた（民主クラブ）

区民環境委員会

【主な審査内容】
地域自治の振興、文化振興、スポーツ振興、国際交流、戸籍・住民基本台帳、産業振興、消費生活・観光振興、環境保全・公害対策、資源化再利用、清掃事業

委員長　鈴木　こうすけ（公明党）

副委員長　横川　たかゆき（自民党）

小野　ゆりこ（日本維新の会）

山内　えり（共産党）

中村　とらあき（自民党）

くまだ　智子（民主クラブ）

さかまき　常行（公明党）

元山　芳行（自民党）

都市建設委員会

【主な審査内容】
都市計画、都市再開発、建築物、住宅、道路・河川・公園緑地・下水道、まちの美化、交通安全

委員長　おなだか　勝（民主クラブ）

副委員長　木田　おりべ（自民党）

小柳　しげる（共産党）

実正　やすゆき（公明党）

いわい　桐子（共産党）

おばた　健太郎（民主クラブ）

大野　治彦（自民党）

川口　雅敏（自民党）

田中　いさお（公明党）

議会運営委員会

【主な審査内容】 議会の運営、会議規則・委員会条例など

委員長	元山　芳行（自民党）	委員	長瀬　達也（自民党）
副委員長	成島　ゆかり（公明党）		内田　けんいちろう（自民党）
理事委員	いわい　桐子（共産党）		間中　りんぺい（自民党）
理事委員	おなだか　勝（民主クラブ）		いしだ　圭一郎（公明党）

会派と正副幹事長

板橋区議会自由民主党議員団（16名）
幹事長　元山　芳行　　副幹事長　間中　りんぺい・内田　けんいちろう

板橋区議会公明党（10名）
幹事長　成島　ゆかり　　副幹事長　いしだ　圭一郎

民主クラブ（立憲民主党・国民民主党・社会民主党）（６名）
幹事長　おなだか　勝　　副幹事長　おばた　健太郎

日本共産党板橋区議会議員団（６名）
幹事長　いわい　桐子　　副幹事長　小林　おとみ

日本維新の会板橋区議会議員団（２名）
幹事長　大森　大　　副幹事長　小野　ゆりこ

いたばし未来会議（２名）
幹事長　井上　温子　　副幹事長　大野　ゆか

参政党（１名）
坂田　れい子

無所属議員
しいな　ひろみ

特別委員会

DX推進調査特別委員会

●委員長
山田　たかゆき（自民党）
●副委員長
くまだ　智子（民主クラブ）
●理事委員
いわい　桐子（共産党）
いしだ　圭一郎（公明党）
元山　芳行（自民党）

●委員
ひはら　みちこ（自民党）
井上　温子（いたばし未来）
内田　けんいちろう（自民党）
大森　大（日本維新の会）
寺田　ひろし（公明党）
岩永　きりん（民主クラブ）

孤独・孤立対策調査特別委員会

●委員長
石川　すみえ（共産党）
●副委員長
一島　ひろし（自民党）
●理事委員
山内　えり（共産党）
成島　ゆかり（公明党）
おなだか　勝（民主クラブ）

●委員
しいな　ひろみ（無所属議員）
横川　たかゆき（自民党）
長瀬　達也（自民党）
わたなべ　一美（公明党）
田中　しゅんすけ（自民党）

災害対策調査特別委員会

●委員長
さかまき　常行（公明党）
●副委員長
大野　治彦（自民党）
●理事委員
五十嵐　やす子（民主クラブ）
小林　おとみ（共産党）
田中　いさお（公明党）

●委員
近藤　タカヒロ（自民党）
大野　ゆか（いたばし未来）
いがらし　学（公明党）
小野　ゆりこ（日本維新の会）
中村　とらあき（自民党）
田中　やすのり（自民党）

文化芸術・多文化共生推進調査特別委員会

●委員長
中妻　じょうた（民主クラブ）
●副委員長
小柳　しげる（共産党）
●理事委員
おばた　健太郎（民主クラブ）
佐々木　としたか（自民党）
しば　佳代子（公明党）

●委員
坂田　れい子（参政党）
木田　おりべ（自民党）
間中　りんぺい（自民党）
実正　やすゆき（公明党）
荒川　なお（共産党）
鈴木　こうすけ（公明党）
川口　雅敏（自民党）

監査委員

中村　とらあき（自民党）　　しば　佳代子（公明党）

※会派の届出のない議員は「無所属議員」と表記しています　※令和７年７月10日現在

一般質問

6月5日
6月6日
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。
◆一般質問の全文（会議録）は、9月上旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が一般質問をしている動画にアクセスできます。

岩永きりん（民主クラブ）

子ども家庭支援事業を問う

【質　問】いたばし子育て情報サイトはページ構造が多層的でわかりづらい。区と都が行っている事業を一覧化し、ＳＮＳでシェアしやすい形でまとめたページを作成しては。

【区　長】区における組織横断的な連携はもとより、国や都の事業も含め、わかりやすい情報発信方法について検討を進めていく。

【質　問】子育て支援事業の利用申請を可能な限りワンストップ化できないか。

【区　長】利用申請のワンストップ化に向けては、各事業の実施方法などの違いによる課題はあるものの、少しでも利用者の負担が軽減されるよう、改善に取り組んでいる。

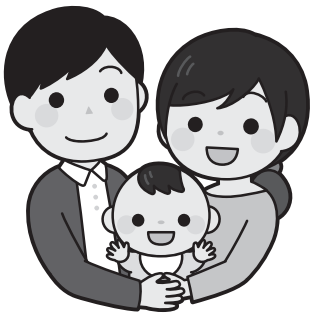
【質　問】子育て支援事業の相談先は多岐にわたり、どこに相談すれば良いかわからないという声がある。「ここに相談すれば適切なところにつなげてくれる」安心して頼れる窓口を設置しては。

【区　長】「子育てサポート」を様々な子育て支援事業の利用に関する相談窓口に位置付けている。今後、チラシなどを通じて、子育てサポートを周知するとともに、各事業のより良い周知方法についても検討し、適宜改善していく。

自宅保育について問う

【質　問】保育所を利用せず、乳幼児を在宅で育児する保護者に対し、在宅育児手当の給付を検討すべき。

【区　長】区民が自ら必要な子育て支援サービスを選択し、円滑に利用できる環境の整備を図ることが区の務めであると考えており、直接的な金銭給付である、提案の事業を行う予定はない。



五十嵐やす子（民主クラブ）

【区　長】継続的な個別対応を繰り返すことで、着実に理解が深まっていると考えている。引き続き、丁寧な説明や情報発信に努めていく。

【質　問】旧高島七小跡地だけでなく、33街区にも賃貸住宅を建設し、戻り入居できるとしたことをいつから知っていたのか。また、再整備地区の高さ制限を110ｍとした根拠を伺う。

【区　長】賃貸住宅を建設する可能性があることは以前から認識していた。建替えに伴う移転先住戸を確保するためにも高さの緩和は必要であり、駅の拠点性や区内の近傍事例を踏まえ、数値を設定した。

【質　問】区とＵＲで計画を進めず、一旦立ち止まることを求める。見解は。

【区　長】都市再生の第一歩となる交流核の形成を早期に実現し、その効果を地域全体に波及させるためにも、スピード感をもって進めながら、引き続き住民の理解が得られるよう丁寧に対応していく。

地域課題について問う

【質　問】新河岸地域から高島平八丁目の郵便局付近などをつなぐ民間路線バスやりんりんＧＯの導入を検討すべき。

【区　長】バス路線の減便や道路幅員の確保などの課題があり、新たなバス路線の導入は困難と考えている。

※以上のほか、「板橋区基本計画」は住民こそ主人公に、「子どもへの戦闘訓練や自衛隊の勧誘を許さない板橋へ」について質問があった

憲法と平和について問う

【質　問】戦争体験者の多くが鬼籍に入り、戦争を語り継ぐことが難しくなっている現実において、戦争体験者の声をアーカイブとして残すべき。

【区　長】平和都市宣言40周年を迎えた7年度、戦争体験者の協力を得ながら映像制作を進めていく。

【質　問】平和教育を行うにあたり、教育委員会の考えや方針、大切にしていることは。

【教育長】小中学生に対する平和に関する教育の重要性を認識しており、学校での教育活動全体を通した平和教育の充実に取り組んでいく。

【質　問】史跡公園を整備するにあたり、平和や平和教育という視点をもっと前に押し出した計画にすべき。

【区　長】平和意識の醸成や平和教育は重要な視点であると認識しており、その表現方法については、全体的な調整のもと、検討していく。

ごみの収集について問う

【質　問】他自治体のように戸別収集サービスの要件を拡大すべき。

【区　長】公平性の確保や収集体制の構築などの課題があり、要件を拡大する考えはないが、他自治体の事例について、情報収集に努めていく。

※以上のほか、資格確認書の一斉送付を、安定した保育園運営のために、物価高騰による生活困窮、上板橋周辺のまちづくりについて質問があった

石川すみえ（共産党）

小竹向原駅への交通手段について問う

【質　問】東新町、小茂根地域において、自転車駐車場のさらなる増設と新たな交通手段を検討すべき。

【区　長】小茂根図書館前自転車駐車場を新設する。7年度は、東新町・小茂根地域交通検討会を立ち上げ、新たな交通手段の導入可能性を検討していく。

学びを保障する学校教育を

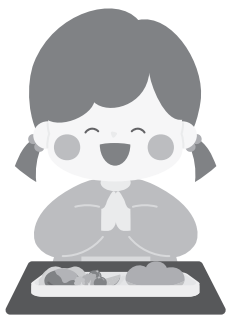
【質　問】区立小学校において、学習の遅れが生じた原因と再発防止策について伺う。

【教育長】当該教員の状況を周囲が把握できず、組織的な支援ができなかった。全区立学校に対し、履修内容などを適切に把握するとともに、経験の浅い教員への支援を組織的に行うよう伝達した。

区立保育園の質の向上を

【質　問】給食の提供ができていない2園について、提供再開はいつになるのか。

【区　長】7年7月1日から、調理委託による給食提供が行われる予定である。



いわい桐子（共産党）

住民無視の「高島平まちづくり」を住民参加へ

【質　問】高島平二・三丁目周辺地区地区計画について、住民合意があると考えるのか。

【区　長】継続的な個別対応を繰り返すことで、着実に理解が深まっていると考えている。引き続き、丁寧な説明や情報発信に努めていく。

【質　問】旧高島七小跡地だけでなく、33街区にも賃貸住宅を建設し、戻り入居できるとしたことをいつから知っていたのか。また、再整備地区の高さ制限を110ｍとした根拠を伺う。

【区　長】賃貸住宅を建設する可能性があることは以前から認識していた。建替えに伴う移転先住戸を確保するためにも高さの緩和は必要であり、駅の拠点性や区内の近傍事例を踏まえ、数値を設定した。

【質　問】区とＵＲで計画を進めず、一旦立ち止まることを求める。見解は。

【区　長】都市再生の第一歩となる交流核の形成を早期に実現し、その効果を地域全体に波及させるためにも、スピード感をもって進めながら、引き続き住民の理解が得られるよう丁寧に対応していく。

地域課題について問う

【質　問】新河岸地域から高島平八丁目の郵便局付近などをつなぐ民間路線バスやりんりんＧＯの導入を検討すべき。

【区　長】バス路線の減便や道路幅員の確保などの課題があり、新たなバス路線の導入は困難と考えている。

※以上のほか、「板橋区基本計画」は住民こそ主人公に、「子どもへの戦闘訓練や自衛隊の勧誘を許さない板橋へ」について質問があった

国保加入者全員へ資格確認書の送付を求めて

【質　問】医療を受ける権利を確実に保障するため、資格確認書を一斉送付すべき。

【区　長】全被保険者に交付する考えはない。

※以上のほか、区長の政治資金、物価高騰から暮らしを守るために、外国人を排除しない自治体をめざして、高齢者施策の充実について質問があった

大森大（日本維新の会）

【区　長】口の一本化や連携を図ることのできる岐阜市の取組みは参考になるものと認識している。

里親支援制度の拡充を問う

【質　問】世田谷区のように緊急受入れが可能な里親待機制度を導入する考えは。

【区　長】他自治体の取組みを参考に、里親への委託措置や一時保護委託を進めていく。

文化・観光振興策を問う

【質　問】漫画・アニメ関連のイベント誘致などの取組みについて、検討の余地は。

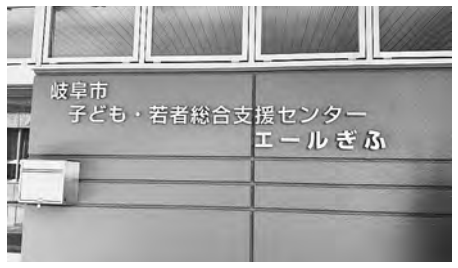
【区　長】集客という観点において、効果的であると認識しているため、今後可能性を模索していく。

※以上のほか、トイレアート事業について質問があった

子どもの相談・支援体制について問う

【質　問】岐阜市子ども・若者総合支援センター「エールぎふ」のような、教育と福祉、警察を融合した支援体制を参考にすべき。

【区　長】多機関を同一の建物に設置することで、相談窓口の一本化や連携を図ることのできる岐阜市の取組みは参考になるものと認識している。



岐阜市子ども・若者総合支援センター「エールぎふ」

大野ゆか（いたばし未来）

区民参加の仕組みを問う

【質　問】ＳＤＧｓプラットフォームを活用し、区民自らが提案し、公民が連携できる仕組みをつくってみては。

【区　長】リアルな対面交流の場であるＳＤＧｓフォーラムでの取組みを通して、区民の提案が区政に生かせる仕組みづくりを検討していく。

子どもと保護者にやさしいまちをめざして

【質　問】おむつのサブスクリプションについて、私立保育園の導入状況と未実施の園への働きかけについて伺う。

【区　長】私立保育園の導入

（7面に続く）

（6面から続く）

状況は把握していない。各園の経営判断に委ねていく。

【質　問】公園におけるボール遊びの環境整備について、7年度の具体的な動きは。

【区　長】ボール遊びを可能にする試行を予定しており、公園の絞り込みを行っている。理解が得られた1、2か所の公園で環境整備を進めていく。

※以上のほか、「外の力とつながる学校、広がる学び」について質問があった

大野治彦（自民党）

政策について問う

【質　問】基本構想審議会の中間答申を踏まえ、区長が描く将来のビジョンと決意は。

【区　長】「東京で一番住みたくなるまち」と方向性を同じくするものであり、その実現に向けた政策に果敢にチャレンジし、力強く歩みを進めていく。

防災について問う

【質　問】住民防災組織に期待する役割、地域防災力を高める支援や育成の進め方について、見解は。

【区　長】共助の中核としての役割を期待している。引き続き、実践的な訓練などを通じて、住民防災組織のさらなる活性化と地域防災力の向上に向け支援していく。

都立城北中央公園の再整備について問う

【質　問】既存の陸上競技場の整備について、都も前向きな姿勢を示し、調査費の予算が計上されたと聞いている。今後、どのような戦略で地域住民の期待に応えていくのか。

【区　長】都とは、非常に前向きな話し合いができている。公園の利用者や地域住民の要望に応えられるよう、引き続き、都と協議していく。

【質　問】陸上競技場の整備や調節池上部の活用など、多面的な要素をどのように組み合わせ、実現へと結び付けていくのか。

【区　長】今後も、区議会との連携をはじめ、公園の敷地を共有する練馬区とも連携を強めながら、様々な課題に対応していく。

小竹向原駅1番出口へのエレベーター設置を求めて

【質　問】鉄道事業者の中期経営計画に「設置の実現に向けて検討を推進」と位置付けられた。区の今後の方針は。

【区　長】情報収集を続けるとともに、協議の場を必要に応じて設けるなど、継続的に鉄道事業者に働きかけていく。

※以上のほか、教育について質問があった

ひはらみちこ（自民党）

区の将来に向けたビジョンについて問う

【質　問】生産年齢人口の減少や高齢化など、人口構造の変化を踏まえた区政経営が必要と考える。見解は。

【区　長】人口構造を的確に捉えながら、変化に対し、しなやかに対応できる持続可能な区政をめざしていく。

【質　問】食料の供給に関するつながるものと考えている。

【質　問】空き家などの対策について、多職種連携チームの設置を検討すべき。

【区　長】案件により必要な支援が異なるため、その都度柔軟な連携体制で対応する。

【質　問】倒壊の危険がある住宅からの移転が必要な場合、安心して移住できる仕組みが必要と考える。見解は。

【区　長】今後も、専門家の知見や他自治体の取組みも参考にしながら、必要な対応を行っていく。

【質　問】勧告と移住支援を組み合わせるなど、福祉的配慮を持った特定老朽建築物の認定を積極的に行うべき。

【区　長】危険度の高い建築物から順次、所有者などへの指導や支援を行うとともに、関係部署と連携体制を強化し、課題解決に取り組んでいく。

※以上のほか、持続可能なまちづくりについて質問があった

一島ひろし（自民党）

地域共生社会を実現するための仕組みについて問う

【質　問】地域社会が抱える課題は複雑化・多様化しており、地域に任せきりにしない支援体制への転換が強く求められていると考える。区の支援体制と今後の展望は。

【区　長】地域福祉コーディネーターを配置し、困っている方への多面的な支援の充実を図っている。現在、3地区でモデル配置を実施しており、効果検証を進めるとともに、地域の意見なども踏まえて今後の方向性を検討していく。

【質　問】地域での支え合いを持続可能なものにするため、若年層との連携を強化すべき。

【区　長】若年層との連携は重要な視点であり、若年層と連携した好事例については、積極的に発信していく。

【質　問】民生委員へのタブレット配付の効果と意義は。

【区　長】資料管理の負担や個人情報紛失のリスクを軽減できる。また、会議へのオンライン参加が可能となるなど、活動しやすい環境を整えることで、新たな担い手の確保につながるものと考えている。

【質　問】空き家などの対策について、多職種連携チームの設置を検討すべき。

【区　長】案件により必要な支援が異なるため、その都度柔軟な連携体制で対応する。

【質　問】倒壊の危険がある住宅からの移転が必要な場合、安心して移住できる仕組みが必要と考える。見解は。

【区　長】今後も、専門家の知見や他自治体の取組みも参考にしながら、必要な対応を行っていく。

【質　問】勧告と移住支援を組み合わせるなど、福祉的配慮を持った特定老朽建築物の認定を積極的に行うべき。

【区　長】危険度の高い建築物から順次、所有者などへの指導や支援を行うとともに、関係部署と連携体制を強化し、課題解決に取り組んでいく。

※以上のほか、持続可能なまちづくりについて質問があった

内田けんいちろう（自民党）

地域の安全と安心の再構築について問う

【質　問】学校施設の防犯カメラにＡＩによる異常検知機能などを導入することや、警察との連携強化について、検討状況は。

【教育長】異常検知システムなどの導入は、効果や先進事例などの情報収集をしている。警察との連携では、スクールＡＳテストなどの指標を測るアセスメントの導入は難しい。児童・生徒の情報リテラシーの向上は、インターネットを安心・安全に利用するうえで重要であり、今後も情報収集に努めていく。

防災について問う

【質　問】ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ（テック・フォース）の活動について、国交省と連携し具体化を進めるべき。

【区　長】区に甚大な被害が生じるような場合には、ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥの行動力や技術力が非常に期待できることから、災害時の連携について検討を進めていく。

旧板橋四中の跡地活用を問う

【質　問】地域住民の要望である、いつでもにぎやかに利用できる多目的広場の設置を求める。見解は。

【区　長】多目的広場は、スポーツや地域活動をはじめ、可能な限り広く、日常的に利用できる場所にしたいと考えている。

※以上のほか、技監の設置について質問があった

【質　問】外国籍児童の増加について、対応の必要性をどのように認識しているか。

【教育長】ことば支援員の配置に加え、多言語通訳サービスＫＯＴＯＢＡＬ（コトバル）を40台導入し、機械通訳やビデオ通訳として活用できるようにしている。拡充を検討するなど、必要な対策を講じていく。

多言語コミュニケーションシステム「KOTOBAL」

【質　問】言語支援が必要な児童に対し、中長期的支援と拠点整備が必要と考える。今後、教育支援拠点を設ける考えはあるか。

【教育長】日本語の指導体制を強化する手段として、拠点整備も含め検討を進めていく。

いたばしPayについて問う

【質　問】プレミアム付商品券との棲（すず）み分けや今後の方向性について伺う。

【区　長】いたばしPayは、行政ポイントの活用による地域課題の解決という新たな目的を加え、地域通貨としてさらなる定着をめざしていく。

ヤングケアラーについて問う

【質　問】支援メニューを拡充する計画はあるか。

【区　長】国からヤングケアラーへの支援のあり方が示されたことを踏まえ、7年度に支援の充実に向けたガイドラインの策定を進めていく。

※以上のほか、「未来に希望が持てる板橋区政のために」について質問があった

寺田ひろし（公明党）

プレミアム付商品券の発行について問う

【質　問】地域経済循環を拡大するため、東京アプリの７０００ポイントを付与するキャンペーンに合わせ、プレミアム付商品券を発行すべき。

【区　長】7年度は、プレミアム率が10％に下がるが、当選者数を拡大し、発行する予定である。

介護保険外サービスの情報提供について問う

【質　問】介護保険制度の枠にとらわれない保険外のサービスを選択できる環境づくりが必要。介護保険外サービスの存在や利用の仕方など、わかりやすく情報提供すべき。

【区　長】働きながら介護をする方の負担軽減につながるよう、わかりやすい情報提供に向け、さらに検討していく。

個別避難計画について問う

【質　問】対象の浸水エリア以外の要支援者が、本人作成の個別避難計画を作成した際の受付について伺う。

【区　長】避難行動要支援者名簿の登載者から、本人作成の個別避難計画が提出された場合は、必要事項が記載されていれば、様式を問わず受付を行う。

保存食対応について問う

【質　問】家庭福祉員の自園調理に際する保存食対応は負担である。給食の外部搬入を進めるなど、支援すべき。

【区　長】家庭福祉員の実態把握や意見聴取を行い、負担の軽減につながる支援を実施していく。

障がい者支援について問う

【質　問】グリーンホールを改築するまでの間、障がい者のフリースペースを旧保健所跡地に建築する予定の建物に設置できないか伺う。

【区　長】障がい者のフリースペースを先行して設置することは難しい状況である。障がい当事者などの意見を聞きながら、必要とする支援内容を把握し、別の場所での先行実施の可能性を検討していく。

上板橋駅南口再開発を問う

【質　問】駅舎2階への経路について、将来の構想も含め、住民に丁寧な説明をすべき。

【区　長】引き続き、説明会などにより、駅への経路を含む将来の計画をより効果的に伝えられるよう工夫していく。

※以上のほか、防犯、孤独・孤立対策について質問があった

しば佳代子
（公明党）

区民の健康を守る政策を問う

【質　問】８年度の帯状疱疹ワクチンの助成制度の対象を現行と同じ50歳以上とすることを求める。見解は。

【区　長】８年度以降の任意接種の助成については、活用できる補助金が見込まれる場合には、柔軟に対応していく。

高島平のまちづくりを問う

【質　問】高島平駅を降りることなく団地へつながるペデストリアンデッキの設置を要望する。見解は。

【区　長】現在のところ、都では駅舎を改修する予定がないことから、デッキを駅東口の改札レベルに接続させることを想定しているが、利用者にとってシームレスな移動を実現できるよう、引き続き、都の関係部署と協議していく。

【質　問】高島平二丁目33街区の住民が、旧高島七小跡地の建物に入居する場合、全国一律の家賃減額制度がある。都内と地方の家賃には差があるため、ＵＲに対し、制度の見直しを要望すべき。

【区　長】建替えに伴い、新たな建物に入居を希望する方が、可能な限り居住できる環境を整えるよう、支援策の充実を含め、ＵＲに対し働きかけていく。

イエナプラン教育を問う

【質　問】不登校対策は急務である。子どもが自ら考え行動し、自律と共生を学ぶイエナプラン教育を実施すべき。

【教育長】今後も、イエナプラン教育の理念を取り入れながら、子どもたちの多様性を重視した教育を推進していく。

災害に強い環境にするために

【質　問】ウォーターサーバーについて、災害時など水の供給が絶たれても電気があれば飲料水をつくり出せる空気製水機を導入すべき。

【区　長】区施設におけるウォーターサーバーの設置及び更新の際は、機能やコストなどを見極めたうえで、機器を選定していく。

安心して暮らせる高齢者施策について問う

【質　問】埼玉県秩父市では、単身者に万が一の事態が発生した際に対応するＬＩＮＥサービス「単身者安否確認システム」を開始している。単身者の見守りが可能となるため、区でも導入すべき。

【区　長】秩父市での運用状況なども注視しつつ、多様な世代の孤独・孤立対策につながる一つのツールとして、活用について検討していく。

※以上のほか、地域課題について質問があった

坂田れい子
（参政党）

【区　長】多文化共生社会の実現に向けて、外国籍の方が日本語を学び、日本の文化やルールを理解することは重要であると認識している。

食育菜園が拓く日本型探究教育の可能性について問う

【質　問】区立学校で、食育菜園を核とした教科横断型の学びを広げるべき。

【教育長】各学校では、食育に関する体験的な学習を充実させるため、総合的な学習の時間を中心に、地域の特色や良さを生かした取組みを行っている。今後も、郷土愛や豊かな人間性を育めるよう支援していく。

多文化共生政策について問う

【質　問】在留外国人に対し、おもてなしよりも日本語を学び、自立して社会に溶け込む努力を求める同化主義的なアプローチが必要。見解は。

【区　長】多文化共生社会の実現に向けて、外国籍の方が日本語を学び、日本の文化やルールを理解することは重要であると認識している。

しいなひろみ
（無所属議員）

安心して福祉サービスを受けるために

【質　問】特別障害者手当について、介護保険を利用する方に幅広く情報提供する必要があると考える。見解は。

【区　長】要介護の方は、障害者手帳を持っていなくても、必要とされる介護の状態により、手当を受給できる可能性がある。適切な周知方法について検討していく。

【質　問】介護認定申請に必要な主治医意見書について、一部の医師による手書きの文字に判読不明なものがある。改善を求めるが、見解は。

【区　長】主治医意見書研修などにおいて、手書きの場合は、判読可能な文字で記載するよう、改めて周知していく

※以上のほか、地域住民を守るＡＥＤの校門への設置を求む、危険な通学路対策について質問があった

議会トピックス

5月23日の臨時会において、特に重要な案件を専門的に調査する機関として４つの特別委員会が設置されました。
それぞれの特別委員会の建議理由（要旨）をお知らせします。

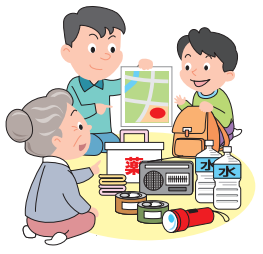
DX推進調査特別委員会

ＤＸ化について、区は、№1実現プラン２０２５において、重点戦略の一つとして位置付け、行政手続きのオンライン化やオフィス改革など、庁内外に向けた施策を実施してきた。今後さらに、各職場における業務の最適化・効率化を推進し、多様化する区民ニーズに応える質の高いサービスを提供することが重要である。

議会としては、誰一人取り残さないデジタル社会の構築に向け、区民サービスのさらなる向上と持続可能な区政経営を実現するため、ＤＸの推進について調査を行う必要がある。

災害対策調査特別委員会

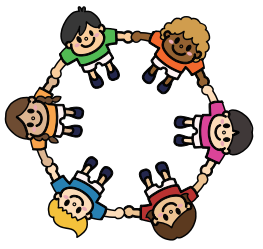
予想される大規模災害の発生に備え、自助・共助・公助における日頃からの対策をソフトとハードの両面から捉え、Ｒｅａｄｙ－Ｇｏの考え方に基づく初動体制の強化が重要である。併せて、発災後における区民生活の円滑な復旧・復興を見据えた誰一人取り残さない防災対策の実現に向けて調査を行う必要がある。



文化芸術・多文化共生推進調査特別委員会

区は、いたばし文化芸術・多文化共生ビジョン２０２５を策定し、文化芸術の振興・文化財の保護に加え、国際交流や教育などの分野を含めた多文化共生施策を推進してきた。文化財の保護においては、史跡公園の整備に向け、史跡の価値を周知・啓発するための展示事業を展開していく予定である。

議会としては、区の持つ文化芸術の継承・発展を図るとともに、国際理解を促進し、人種や文化の垣根を超えた連携を構築することで、誰もが心豊かに暮らせる地域社会の実現に向けて、調査を行う必要がある。



孤独・孤立対策調査特別委員会

近年、核家族や単身世帯、単身高齢者の増加などにより、家族や地域、社会における人と人とのつながりが希薄化し、誰もが孤独・孤立の状態に陥りやすい状況が生じている。交流の場や居場所の確保、民間企業やＮＰＯ法人との連携など、人と人とのつながりを実感できる地域づくりが求められている。

議会としては、「誰一人取り残さない」というＳＤＧｓの理念に基づき、あらゆる立場の人々が孤独や孤立を感じることなく安心して暮らし続けることができる、包摂的な地域社会の実現に向けて調査を行う必要がある。

令和７年第３回定例会の開会予定

９月11日（木）	告示、議会運営委員会
９月22日（月）	本会議
９月24日（水）	本会議
９月25日（木）	企画総務委員会、区民環境委員会、健康福祉委員会
９月26日（金）	都市建設委員会、文教児童委員会
９月30日（火）	議会運営委員会
10月２日（木）	DX推進調査特別委員会、孤独・孤立対策調査特別委員会
10月３日（金）	災害対策調査特別委員会、文化芸術・多文化共生推進調査特別委員会
10月８日（水）	議会運営委員会
10月14日（火）	本会議、決算調査特別委員会
10月15日（水）	決算調査特別委員会（企画総務・区民環境・健康福祉分科会）
10月16日（木）	決算調査特別委員会（都市建設・文教児童分科会）
10月22日（水）から24日（金）	決算調査特別委員会（総括質問）
10月27日（月）	議会運営委員会
10月28日（火）	本会議

●会議は原則として午前10時に開会予定です（議会運営委員会は午後１時から）。日時は変更となる場合があります。
●手話通訳は希望日の７日前、一時保育は希望日の10日前、ヒアリングループ（磁気誘導ループ）の利用（委員会室のみ）は希望日の３日前（土日祝日を除く）までにお申し込みください。
●本定例会中に審査を希望される請願・陳情につきましては、９月10日（水）午後３時までにご提出ください。
●本会議及び決算調査特別委員会（総括質問）の様子は、インターネットでライブ中継及び録画配信を行います。ホームページよりご覧ください。

区議会議員の失職について

高沢一基議員（民主クラブ）が東京都議会議員選挙に立候補したため、公職選挙法第90条の規定により、令和７年６月13日付で区議会議員の職は失職となりました。